

まちかど

アルバム



80年の時を超えて

二階町二丁目

ごぞえん

12月27日(月)、修復工事中の五臓圓ビルの防音シートが取り除かれ、生まれ変わった外壁が工事中の内部とともに関係者に公開されました。現れたのは、昭和6年の建築当時をほうふつとさせる蛇腹とスクラッチタイル。また、内部では工事中发现されたモザイクタイルも公開され、市の学芸員が製造時期などを解説していました。このモザイクタイルの一部は、3月26日のリニューアルオープンとともに公開される予定です。

中学生がヘアカットに挑戦

福部中学校

12月14日(火)、福部中学校で「生き方セミナー」が開催され、写真家やニュースキャスター、獣医師など6人の講師から、仕事に対する思いなどについて学びました。理容師でヘアサロン経営者、鳥谷一弘といたにかずひろさんの講座では、ハサミの使い方を教わりながら、真剣な表情でマネキンの髪をカットした生徒たち。仕事についての理解を深める良い機会となったようです。



新たな気持ちで稽古に臨む

鳥取市武道館

1月9日(日)、新春恒例の稽古初めと鏡開きが東町一丁目の鳥取市武道館で行われました。稽古初めには、県東部で日ごろから空手道、なぎなた、柔道、剣道、弓道の5種目に励む老若男女約700人が参加。約1時間の稽古を行い、心地よい汗を流しました。稽古後の鏡開きでは、各種目の代表者が力強い形や演舞を披露。また、紅白もちが参加者全員に配られ、みなさんが口いっぱいにはおぼりながら今年1年の修練を誓い合いました。



心が触れ合うマッサージ

国府人権福祉センター

国府町では「人権と福祉のまちづくり」の取り組みとして、鍼灸師のざわみのる野澤実さんと盲導犬・ダインの「ふれあいマッサージ」を毎月、地区ごとに行っています。1月6日(木)、国府町あそう麻生の国府人権福祉センターで今年初めての交流が行われ、7人の地元住民らが参加しました。みなさん、野澤さんのマッサージと盲導犬ダインの愛らしい姿に、体と心が癒されたようです。





大人への階段を上る

とりぎん文化会館

1月3日(月)、成人式がとりぎん文化会館で開催されました。本年度の市の新成人は2,310人。式典には約1,900人の新成人が出席し、久しぶりの再会を喜び合ったり、記念の写真を撮ったりしていました。式典では、竹内市長が「輝かしい人生を切り開いてください」と祝辞を述べると、新成人を代表して式典実行委員長の中山なかやま瑤美たまみさんが「成人になってできることが増えたが、責任が伴うことも忘れないようにしたい」とあいさつしました。

ととリンと一緒に遊んだよ

用瀬町やしろ社保育園あぞう

12月14日(火)、用瀬町安蔵にある社保育園の園児たちが、全国豊かな海づくり大会のマスコット「ととリン」と交流しました。人気上昇中のととリンに会えて大喜びの園児たち。ととリンに「お魚は好きですか?」「何色が好きですか?」などと元気よく質問していました。また、輪になって一緒に踊ったり歌ったりして、楽しいひとときを過ごしました。



うまいそばができたで

気高町おくぞうみ奥沢見

休耕田を有効活用するため住民がソバの栽培に取り組んでいる奥沢見集落で、12月26日(日)、収穫されたソバを使ったそば打ち体験と試食会が行われました。会場となった奥沢見公民館に集まった参加者は、ほとんどがそば打ち未経験。こねる人と伸ばす人、切る人に分かれ、試行錯誤しながら打ち始めました。時間の経過とともにみなさんが上達し、ちょっと太めだけどコシのあるそばが完成すると、早速ゆで上げられ、集まったみんなで楽しく味わいました。



人と人を結ぶ ふるさと便

青谷町かちべ勝部地区

勝部地区公民館の特産物振興部会では、県外で暮らす親戚や友人に「じげの味」を届けようと、秋と冬の年2回「ふるさと便」を発送しています。12月19日(日)、



旧勝部小学校で冬の便の出荷準備が行われ、王秋梨や生しいたけ、手作りのみそなど、勝部の冬の味覚13品が「館報かつべ」と一緒に箱詰めされました。受け取った人からお礼の便りが届くなど、ふるさと便は勝部の「人と人を結ぶ玉手箱」として喜ばれています。

ドリーム 童里夢で新年のおもてなし

鹿野往来交流館「童里夢」



1月1日(土)から11日(火)まで、鹿野往来交流館「童里夢」で「鹿野のおもいで」と題した新年のおもてなしイベントが行われました。期間中は、鹿野町の昔の写真や市町村合併前に寄贈された屏風などが来場者の目を楽しませたほか、百人一首や万華鏡など懐かしいおもちゃが当たるくじ引きが子どもたちを喜ばせました。また、ぜんざいやイノシシ汁が振る舞われ、来場者の冷えた体を温めました。